

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日本共産党

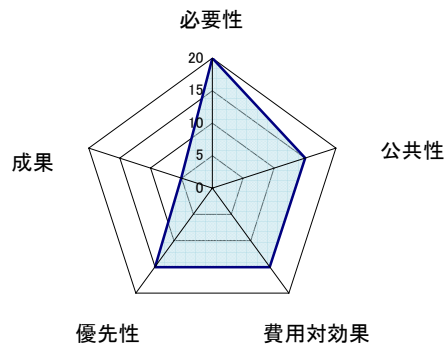
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
2	民生費	多摩市社会福祉協議会助成事業	329

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○     20	多摩市も高齢化がすすみ、また障害者自立支援法のもとでくらしの負担が増大する当事者や増えるなか、福祉分野の相談事業や各種事業の主体者として重要性が増している。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○     15	ボランティアなど市民参加、市民協働・共同がすすんでいるが、そこに過度に依頼しないよう公の果たすべき役割を市がきちんとわきまえるべきである。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○     15	「の一ま」も同様だが、四半期ごとの各経費の配当交付は、「社協」サイドの事務のわずらわしさと負担増を招いているのではないかと。年1回の配当交付でできないのか、精査することが必要。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○     15	福祉分野の柱の1つとして優先性は高い。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○     5	「なんでも民営化」の発想で「社協」の役割があいまいになっている。その結果、助成に見合う成果が見えづらくなっている。

## 2 全体評価（事前評価）

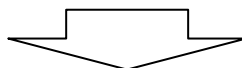
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
 「なんでも民営化」という風潮だが、「社協」の事業内容、役割をきちんと位置づける必要がある。市は、「（「社協」は）コーディネーター役でいい」としているが、そうした卑小な位置づけではいけない。事業主体としての「社協」の役割を明確にすることで、利用者が安心できる「社協」の構築が求められる。



第1次評価レーダーチャート

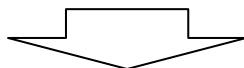
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である	80点以上	公共性、必要性などが高いため、総合点は比較的高いが、それが事業として適正であることとイコールでないことは、成果点の低さが裏付けている。
	4 適正である	60～79点	
	3 おおむね適正である	40～59点	
	2 問題がある	20～39点	
	1 不適正である	19点以下	
		70	



#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

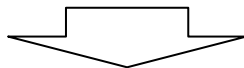
障害者・高齢者という福祉の客体としてもっとも重要な立場の人々に対し市がどうすべきか？、そのために社協がどうあるべきか？が審査を通じても見えてこない。龍鳳への移譲で08年度で廃止となった「第2つくし作業所補助金事業」だが、だからおしまいとはいかないと改めて確認。市側は「のちに取り消した」旨答弁したが、労使の確認書に2010年度で多摩市に返還する、すなわち自ら事業から撤退するような無責任な一文を記載した法人にすべておまかせとはいかない。



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

政権交代をしたばかりであり、今後の政治状況はまだ十分には見えてこない。しかし、そうしたことに関係なく、自治体として「住民福祉の向上」のためにどうするのか？ どのような施設が必要か？ ということを市は、間断なく模索し、実現すべきである。新自由主義的発想からは速やかに脱却しなければならず、市の主体的な政策実現が必要である。



#### 6 第2次評価(修正・今後の方向性)

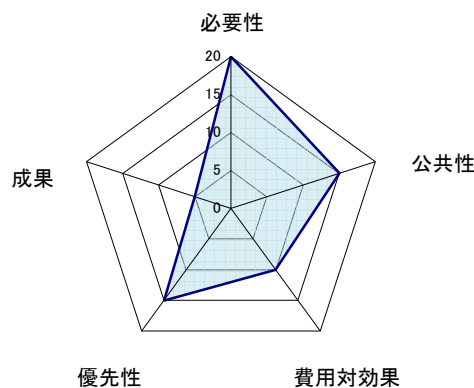
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
4	65	20	15	10	15	5	社協の役割を明確にし、市民協働を取り入れつつも、福祉事業の主体としての位置づけをしないかぎり、たしかな成果はおぼつかない。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

委員会での質疑を通じても本事業で市側が何を実現しようとしているのかが見えてこなかった。社協に対し、いたずらに差し出がましいことを言うべきではないが、本事業を通じてどのように福祉を実現するか？すべきか？について、市が、しっかりとした哲学をもつことが望まれる。そこが希薄なため、費用に見合う効果が見えづらくなっていると判断し、(3)は5点減じた。トータルの評価が高いのは、ひとえに本事業の社会的役割の高さに由来していることは、右のとおりである。あわせて、総合福祉センターの指定管理者の運用について、精査の要があることを付言する。



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	福祉推進の事業として重要である。本事業を実効性あるものにするためには、いたずらな効率化ではなく、改善が必要である。そこで市が果たすべき役割を、市はしっかり認識すべきである。なによりも重度の利用者が安心して使える施設とするため、そこで働く人たちが安心して働ける雇用環境実現に向けて、市はひきつづき選定者責任を果たす必要がある。

※特記事項(200字以内)

なし。

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 公明党

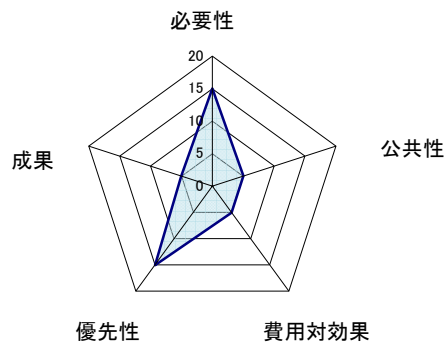
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
2	民生費	多摩市社会福祉協議会助成事業	329

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○     15	高齢者や障害者の支えあいの仕組みづくりのためには必要性が高い。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	   ○  5	社会福祉法人が多い中で、各法人のノウハウで福祉活動を行っている。あらたな支え合いの仕組みづくりを発揮すべきです。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	   ○  5	成果だけを見ると、厳しいと言わざる終えない。仕事に対する責任感と社会状況をみて危機意識をもって取り組むことを望む。
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○     15	地域の支えあいの仕組みづくりを早急に行うことが望まれる。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	   ○  5	

## 2 全体評価（事前評価）

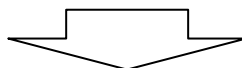
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
社会福祉協議会の場所の問題あり。市民が利用しやすい場所を検討すべき。職員のスキルアップも必要。



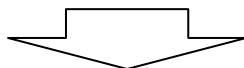
第1次評価レーダーチャート

## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
3	5 きわめて良好である 80点以上	45	多摩社協はまだ十分に機能を発揮していない。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

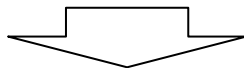


#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



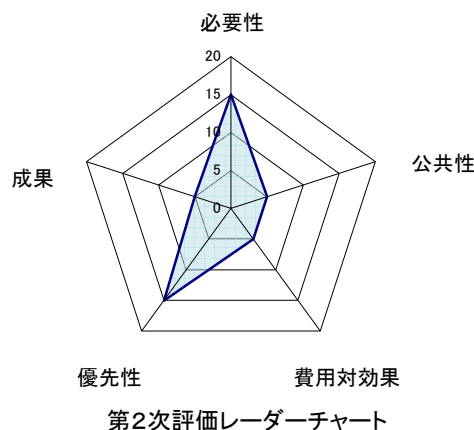
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	45	15	5	5	15	5	

#### (2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



#### (3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	多摩社協は必要である。会員会費が一向に増えていないことが問題である。職員のスキルアップが必要。社協の役割を再確認し、報酬に見合った働きが必要(給与体系の全面的見直しも必要)。福祉だよりを市民が協力したい内容にすること。

※特記事項(200字以内)

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 多摩市議会自由民主党

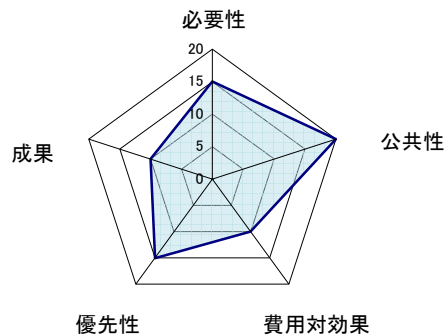
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
2	民生費	多摩市社会福祉協議会助成事業	329

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント(100字以内)
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 20	
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	コストに見合った効果という点では少々疑問が残る。今後の運営方法の精査は必須といえる。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	

## 2 全体評価（事前評価）

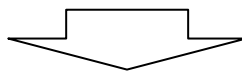
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



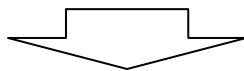
第1次評価レーダーチャート

## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
4	5 きわめて良好である 80点以上	70	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

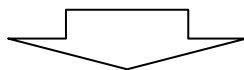


#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



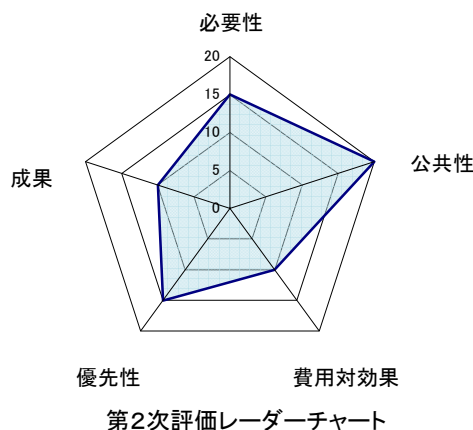
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
4	70	15	20	10	15	10	

#### (2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



#### (3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)  
プロパー職員のスキルアップをはかり、独立した社会福祉協議会としての社会的使命を果たすため奮起してほしい。独立運営可能となるよう行政指導をすべきである。現在ある地域福祉推進委員会を各地域に設置し、地域課題解決に向けて充実をはかってもらいたい。コーディネーターとしての役割を果たすために各団体との連携の強化を望む。毎年、会員数が減少しており、積極的な会員増強運動が必要である。

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 改革ゆいの会

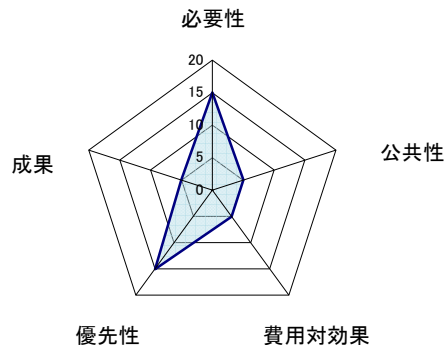
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
2	民生費	多摩市社会福祉協議会助成事業	329

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	地域福祉活動の拠点として、主体的・自立的な事業を展開すべきである。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 5	社協としての独立性を強調すべきである。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 5	職員はプロパー職員を養成すべきである。実質の運営も、将来的には市からの職員派遣は止めるべきだ。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 15	市の福祉事業との有機的連携を図るべきだ。市民福祉の窓口として機能させる。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 5	血の通った運営を図り、会員増を更に進めるべきだ。

## 2 全体評価（事前評価）

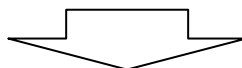
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
市民本位の自主事業を積極的に進め、コーディネーター的な働きを目指すのではなく、又市の出先機関であってならない。



第1次評価レーダーチャート

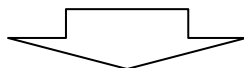
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	45	総合的に判断した。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



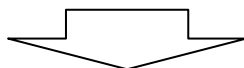
#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Blank area for confirmation items]



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



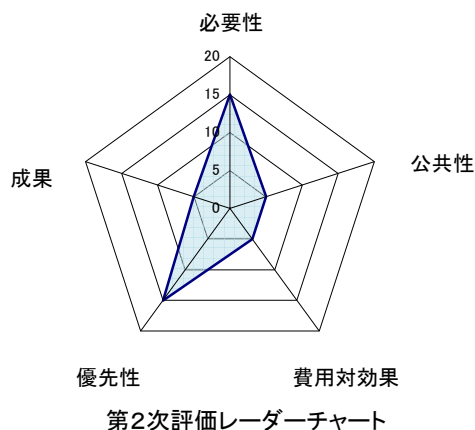
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
3	45	15	5	5	15	5	再度、総合的に判断した。

#### (2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)  
何のための職員プロを雇用しているのか理解できない。



#### (3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	総合的に判断した。

※特記事項(200字以内)

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名：生活者ネット・無所属の会

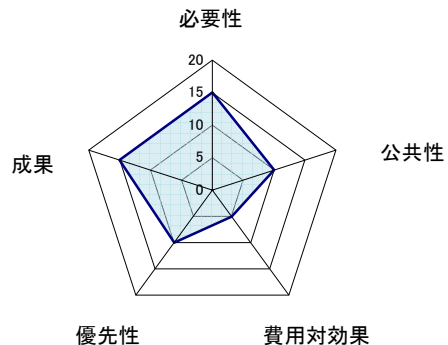
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
2	民生費	多摩市社会福祉協議会助成事業	329

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	地域コミュニティの再生を福祉の視点から実現するには、行政だけでは難しい。地域福祉における今までのノウハウの蓄積もあり、今後、必要性はさらに高まる。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 10	パブリックという意味での公共性は高いが、税金という補助金を柱にしての運営では、独立している意味がない。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 5	高齢者福祉における地域との連携やボランティア土壌づくり、人材の育成、マッチングなどの成果は市民にも理解されてきている。が、公務員並み待遇の職員人件費を市が補填するのは市民の理解を得にくい。
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	全社協、都社協ふくめ、団体の体質改善こそ優先されるべき。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 15	(3)前半参照

## 2 全体評価（事前評価）

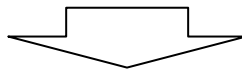
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
包括支援センターやコミセン、各事業所や団体との連携も進み、また、ボランティアセンターの活動により、「ちょボラ」を拡げる役割を担っていることも市民に認知され始めている。団体の体質改善をすすめるよう、さらに働きかけをされたい。



第1次評価レーダーチャート

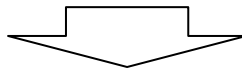
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	55	上記を総合して。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

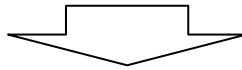
社協の組織体制及び職員配置、人材育成に関しては、市は、継続的に改善を申し入れてきた。



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

市と社協が連携しながら地域福祉の厚みを持たせていけるものと考えているが、その役割分担は、全社協および都社協レベルでの検討に値するのではないかと考える。



#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

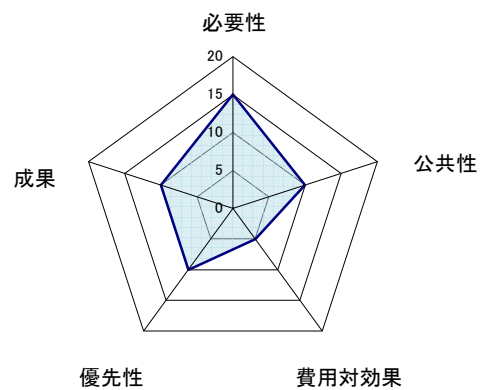
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	15	10	5	10	10	

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

失業者対策、低所得世帯の教育格差是正など都のチャレンジ事業の必要性は高まっておりニーズも高いが、窓口としての機能を十分果たしているとは感じられない。委託元としての市の責任も問われる。



第2次評価レーダーチャート

(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する	小口貸付ほか社協の事業からは、多重債務の激増など市民の厳しい実態把握が可能。市と社協との情報共有と協議こそ、市民が求める施策につながる。抜本的な整理と、課題への協力体制づくりを惜しまないでほしい。サロン事業や地域福祉懇談会などで地域に出てきているのは評価するが更に地域福祉のコーディネーター役を果たすよう市が求めるように。権利擁護事業に期待する。
	4 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	2 見直しのうえ縮小する	
	1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)

遠くない将来、市の職員は引き上げられるよう市と社協双方で計画を持つべきと考える。

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 民主党TAMA

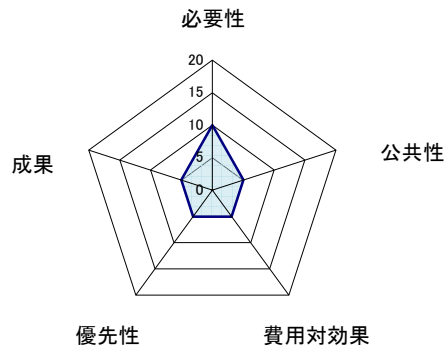
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
2	民生費	多摩市社会福祉協議会助成事業	329

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	社協の事業展開が地域福祉活動支援型になったことに伴い、その役割や求められる成果が大きく変わっている。必要性についても同じである。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	5	社協の事業展開が地域福祉活動支援型になったことに伴い、その役割や求められる成果が大きく変わっているが、市の対応は前例踏襲型を抜け切れていない。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ○ ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	5	社協の事業展開が地域福祉活動支援型になったことに伴い、その役割や求められる成果が大きく変わっている。従来と同じようは補助を行っているのは疑問である。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	5	社協の事業展開が地域福祉活動支援型になったことに伴い、その役割や求められる成果が大きく変わっている。その上で優先性を検証すべきである。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	5	社協の事業展開が地域福祉活動支援型になったことに伴い、その役割や求められる成果が大きく変わっている。しかし求める成果について十分に検証されていない。

## 2 全体評価（事前評価）

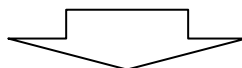
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
社協の事業展開が地域福祉活動支援型になったことに伴い、その役割や求められる成果が大きく変わっているが、その方向性に沿った行政の対応ができていない。今後厳しく精査していくことが必要である。



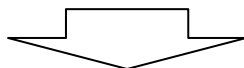
第1次評価レーダーチャート

## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
2	5 きわめて良好である 80点以上	30	いわゆる行政の外郭団体のひとつとも言える。外郭団体が共通して抱えている「無駄を生み出しやすい」構造をどう改革していけるのが課題である。適正とは言えず、本来は多くの問題を含んでいる事業である。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

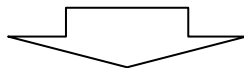


#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



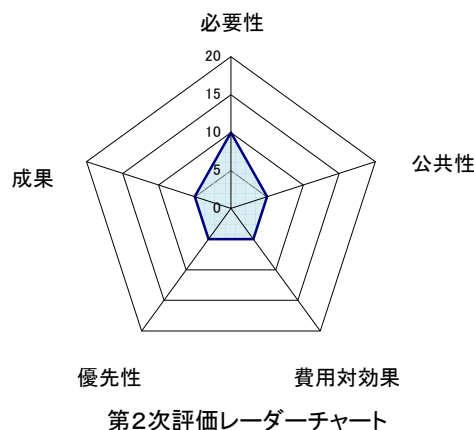
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
2	30	10	5	5	5	5	

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	多くの議員からも指摘があったとおり、その存在意義が問われている。改善効率化は当然のことであるが、抜本的な改革をしなければならない。現状そのままの状態では改善効率を行っただけでは求める成果は出せない。組織としての継続を模索するのではなく、本来的な役割と必要性に見合っで見直しをすべき。

※特記事項(200字以内)

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： あおぞら

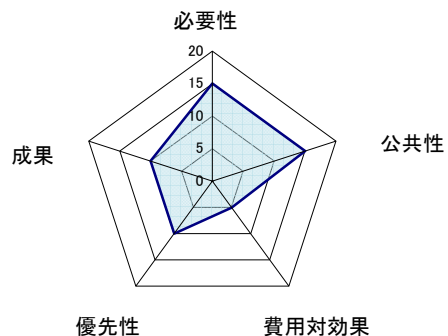
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
2	民生費	多摩市社会福祉協議会助成事業	329

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	地域福祉推進のためには、必要な事業である。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	助成金利用福祉向上のためには、公共性が高い。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 5	利用世帯が、前年度より減少している点では、費用対効果は非効果的である。
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	社会福祉向上のためにはどちらかといえば優先性がある。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	利用世帯は、1045世帯。単位コストでは、問題があると思われる。

## 2 全体評価（事前評価）

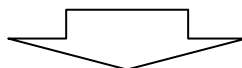
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)  
 バランスは、費用対効果に課題があり自立に向けた取り組みを行政と共に考えることが必要である。



第1次評価レーダーチャート

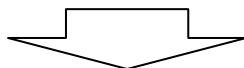
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
3	5 きわめて良好である 80点以上	55	必要性和公共性は高いので、おおむね適正である。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

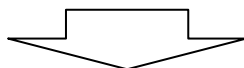
[Blank area for confirmation items]



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

[Blank area for social situation]



#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

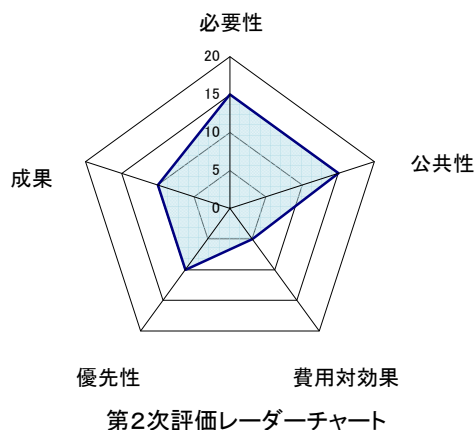
(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
3	55	15	15	5	10	10	[Blank area for overall evaluation]

#### (2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

公共性は高いが、補助金の課題は、これからの行政との役割を精査することある。この事業の自主性と自立性を高めることにより、変化があらわれると思います。福祉活動を通じて地域コミュニケーションを充実させることなどが、今後の課題ではないかと思います。



#### (3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する	[Blank area for justification]
	4 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	2 見直しのうえ縮小する	
	1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)

[Blank area for special notes]

# 平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日月会

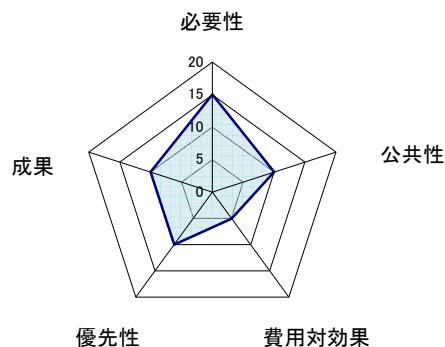
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
2	民生費	多摩市社会福祉協議会助成事業	329

## 1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 10	
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 5	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	

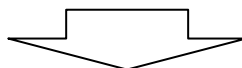
## 2 全体評価（事前評価）

全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



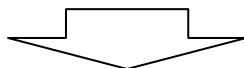
## 3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
3	5 きわめて良好である 80点以上	50	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



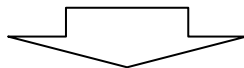
#### 4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Yellow box for confirmation items]



#### 5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)  
[Yellow box for current social situation]



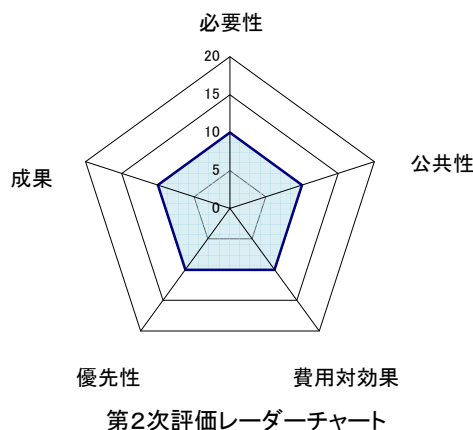
#### 6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	10	10	10	10	社会福祉協議会と市の関係は、心の通うバランスが大切である。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)  
[Yellow box for evaluation comments]



(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	社会福祉協議会と協働し、市民に対してゆとりをもった運営が必要である。

※特記事項(200字以内)  
[Yellow box for special notes]